

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 8 . 8 . 2 7

発行ナンバー 1 2 9 7 号

練習試合の結果

2 2 日 (土) 対川越工業高校

第 1 試合 3 対 2 勝利

第 2 試合 5 対 9 敗退

2 3 日 (日) 対日大明誠高校

第 1 試合 3 対 1 2 敗退

第 2 試合 6 対 1 3 敗退

通算成績 1 9 勝 9 敗

日大明誠高校

山梨県の日大明誠高校、私が県外遠征で 1 番訪れている高校だと思います (毎年定期的に、2 0 年以上)。今年も先日、遠征させていただきました。

試合実施の時期も関係していると思いますが、明誠高校で何度か経験しているのが試合中の雷雨 (この日の試合も途中強い雨が降りました)、過去、試合続行が不可能になり、校内で一緒にトレーニングをさせていただいたことなどもありました。また、私の記憶が間違っていなければ、このグラウンドで岩手・花巻東高校と変則で練習試合をさせていただいた時に、現在メジャーリーガーの大谷選手も来校していたのです (1 日試合には出場せず、学校周辺でトレーニングをしていました)。

来年も試合を組ませていただきました。

野球をしているおかげで県外の方々と交流することができています。

感謝したいと思います。

楽しむ

最近、「楽しむ」ということについてよく考えます。せっかく様々な分野の中から「スポーツ」を選び、さらにそのスポーツの中から「野球」を選んで日々活動しているわけですから、楽しみたいと思っています。ただ、この「楽しむ」・・・これが単純なようで難しい。

物事、ある程度やるべきことをやっていないと「楽しめない」からです。

先日お亡くなりになりましたが、元横浜高校監督の渡辺氏は「楽しむ」ことについてこのように話しています。

●人間というのは楽しい人生を送らなければならない。ただ (難しいのは) その楽しさというのは、苦しんだ経験をした者に訪れるようになっていく。また、苦しい経験をすればするほど人間は強くなるというのもポイント。

●オレが 1 番上手いと自惚れるのではなくて、オレが 1 番上手いんだと思って楽しんでやる。

横浜高校・織田投手が今夏の甲子園大会、対日南学園高校戦、同点の無死 2 ・ 3 塁という大ピンチでマウンドに上がり抑えましたが、「楽しむことができた」というコメントを残しています (確かにピンチを感じさせないととても良い表情で投げていました)。これは渡辺元監督のアドバイス (指導) によるもののようです。

私はこの夏、まったく野球を楽しむことができませんでした。この先に楽しさがあると信じて、今を頑張りたいと思います。